

TWS-EMERGING 2010

会場: トーキョーワンダーサイト本郷
主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団
トーキョーワンダーサイト

Venue: Tokyo Wonder Site Hongo
Organize: Tokyo Metropolitan
Foundation for History and Culture,
Tokyo Wonder Site

 tokyo wonder site
Institute of Contemporary Art and
International Cultural Exchange, Tokyo

June 5 (Sat.) - June 27 (Sun.), 2010

135 MASAKO "every day" 136 Eun Haeran "The box of memories" 137 Nami Shibata "ROOFS"

July 3 (Sat.) - July 25 (Sun.), 2010

138 Maki Ohkojima "orange moon and light blue sun" 139 Yumi Nakata "OBAKEMONO" 140 Midori Sato "Blissful moments"

August 7 (Sat.) - August 29 (Sun.), 2010

141 Aduki Kon "My childish baby" 142 Yasuyo Horiguchi "report from tower tours" 143 Mao Oishi "Tobitachikyori"

October 2 (Sat.) - October 24 (Sun.), 2010

144 Yuji Oda "DIG&BURY'S The Recent Capitalism" 145 Eri Takase "The painting which glares someday" 146 Yoko Hirai "ONARISANN"

October 30 (Sat.) - November 21 (Sun.), 2010

147 Yusuke Kamata "A hundred definitions" 148 Kana Yoshida "Beautiful Limit" 149 Kai Nakayama "I Add to Wish List"

November 27 (Sat.) - December 19 (Sun.), 2010

150 Hiro Hirakawa "Square woven (TWS-H/2010)" 151 Asuka Takamatsu "Trimming" 152 Sanae Yoshida "story of story"

January 8 (Sat.) - January 30 (Sun.), 2011

153 Shu Ikeda "trivial today, transient tomorrow" 154 Ayane Eguchi "Fuwa-moko-sarasa-ra" 155 Terumi Sakane "Schizophrenia"





135 MASAKO

TVから流れる無数のCM
日常の繰り返されるお芝居
幸せを演じる家族
いくつもの顔

本来の自分はとくに死んでしまったのだろうか
日常に秘められたこと、過去に結びつくこと、と出会ったとき、
人はどんな感情を抱くのか

《THAT PERSON》2009
油彩、水性ペンキ、カンヴァス



136 巖 慧蘭

「ある日、私はもう思い出す必要ない記憶をすてることにした。
忘れようとしても忘れられなかったあの記憶を。」
— 制作ノートの中から

《記憶の箱》2009
油彩、カンヴァス



137 柴田七美

たとえば、どんなにありふれたモチーフを描いたとしても、それをどのように描くかで、絵はどれだけ面白くなるのではないかと私は考えている。

《家》2009
油彩、カンヴァス



138 大小島真木

ワタシもキミも、きっとホシだって、誰しものがそれぞれの物語を持っていて、それは私の知っている範囲を超えて、どこまでも広がっているのだからと想像するのです。
たくさんの物語がつくれ、共存して世界は形づくられているように思うのです。

《f.tiger- from bubbles to wall》2009
ミクストメディア



139 中田有美

私とは何なのか？鏡を前にした時、いつもその思いにとらわれる。人種、国籍、過去の記憶、最近買った洋服、昨日見た夢、今日の髪型、女である私。時間や空間のなかに浮遊する、自分ではないかもしれない自画像を描きたい。

《アイランと境界性人格》2009
ドローイング、紙



140 佐藤 翠

ショップに並んだ服や靴、部屋やクローゼットが私の日常の、満たされるある瞬間を刺激する。
それを私のこだわりの世界として、ある満たされた部屋として再び現す。それが、普遍的な満たされるある瞬間となるように。

《Walk-in closet》2009
アクリル、綿布



141 近あづき

knitでカタチを作る行為は、出産のイメージに結びついている。生まれるべき子供たちと実際に生まれることの無かった無数の子供たち。日々、作品は揺れ動き成長し、子供たちは姿を変えていく。

《organ》2008
糸、テグス、デジタル写真



142 堀口泰代

現代の呪詛を解く呪文が、いわゆるアートだと思いがちだが、この考えはかなり危うい。
私の提示は、あらかじめ掛けられた呪いを解く呪文を探す旅のレポートであって、呪文そのものではない。

《マリンヘッドタワー》2009
ラムダプリント



143 大石麻央

人はどこで人を好きになるのだろうか。
顔を隠して胸も性器もなくしたら、君は私を好きと言える？
私は君のこと好きだよ。
年も性別も人種も国籍も信じるものも人であるかどうかさえも愛を妨げたりはしないから。

《飛び立ち距離》2007
綿、羊毛、針金、石膏、発泡スチロール、布



144 オダユウジ

現在の資本主義構造により取り残された牛舎とそこに宿る牛たちの記憶。それらをもとにマクドナルド、菅原文太などのアイコンをとおしてインスタレーションを構成していき、現代社会が抱える問題を考察していく展覧会じゃけん。

《DIG&BURYの最近の資本主義じゃけん》2009
ミクストメディア



145 高瀬絵梨

既存の価値に対して、すぐに対抗意識を燃やす私自身の歪んだ人間性自体が制作のモチベーションである。既にあるスゴいものに対抗すると同時に、自分も含めた、つまらないことや邪念にまみれた馬鹿野郎共を、あっけらかんと突き抜けた明るさで驚かせて一掃してやりたい。

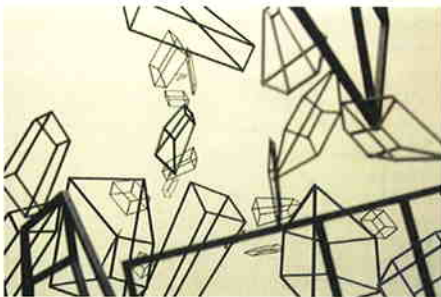
《HAPPY VENDOR》2008
油彩、カンヴァス



146 平井陽子

スーパーな色。金色。限定と圧倒、2つの局面からスーパーを思う。「おいなりさん」では後者から金色をスーパー扱いてみる。圧倒的な金色。あきれ気味に出る笑みもまた微笑ましく。

《鳥と風呂》2009
油彩、カンヴァス



147 鎌田友介

私達は個人の消失点をもって世界を知覚している。だが世界の中の消失点は人の数だけ存在するはずだ。私は多数の消失点が乱立している状態を造り出す。そこに表れる歪みは現代の表象化されない歪みそのものである。

《100の定義》2009
木材



148 吉田夏奈

自分が美しいと認識する感覚を超える場所に出会うと、美しいと感じるよりも恐れや不安が優先する。そしてショックとともに潜在意識でそこを知覚し始める。そのような Beautiful limitの記憶を表現している。

《Shakki -black and white on the lake-》2009
雪、氷



149 中山 開

欲しい物々と今月の給料で買える分と… 毎日そのようなことばかり考えてしまいます。それならば、芸術を利用して欲望を満たす方法を考えればよいのではないかと考え出した回答でした。

《心象風景「風景画を売って新しいパソコンを買いたい」(¥244,800)》2009、油彩、カンヴァス



150 平川ヒロ

この絵は、この絵の支持体でもある綿布を、部屋の矩形になるように天井や壁、床などのパーツに切り分け、それを縫い合せて作った平面作品をもとに描いたものです。

《Square woven(29.Nov.2009)》2009
油彩、綿布



151 高松明日香

私は、写真などをみて絵画を描いている。写真は、自分で撮影したもの、ネットで探したもの、映画、様々。私は、きっと目でみたものを信じている。信じられる対象を、絵になるようにわたしはトリミングしている。

《フォレスト》2009
アクリル絵具、画用紙



152 吉田早苗

興味ある物を私が見る→人に伝達する=物を描く=物を見る視覚を描く=物に対する興味の移り変わり(視点の移動)を描く=この部分が一番に見て(そこが物を最もよく表現している)、二番に見て、三番に見て、全体としてどう見たかを描く。それが私の作品です。

《トンネルのむこうの川のトンネル》2009
アクリル、カンヴァス



153 池田 衆

trivial today, transient tomorrow
 trivial…当たり前、ささいな transient…儂い、一瞬の当たり前のように見えるものでも壊れやすく、次の瞬間には違うものになっていく時間の断片、そこに儂く刹那的な美を感じるのです。

《over and over again》2009
 写真切り抜き



154 江口綾音

私は風景に隠れている可愛い動物を描いている。私は可愛い動物が大好きだ。多様な価値観が存在する現代には、私と同じ趣味嗜好を持ち、私の作品に共感する人々がいるだろう確信の下、私の好きなものを作っている。

《カクレウミネコ》2009
 油彩、カンヴァス



155 坂根輝美

人は社会の推移と共感的に関われた時に幸せを享受できます。「絶対的孤独が狂気に至り、その恐怖から逃れる為に主体性を喪失する」そんな現代人の姿を描く事で、幸せを感受できればと思っています。

《Schizophrenia》2009
 紙本彩色

TWS-EMERGINGとは?

2001年の開館以来トーキョーワンダーサイト(TWS)は、様々な分野の若手支援、育成のプログラムを行ってきました。そのひとつであるTWS-Emergingは、東京都主催の公募展「トーキョーワンダーウォール(TWW)」と連携したプログラムです。毎年TWWでは1000名を超える応募者の中から100名の入選者が選ばれ東京都現代美術館で展示を行います。さらにその中から12名の入賞者が東京都庁3階の空中歩廊というパブリックな場所に展示する機会を得ます。TWS-Emergingは、この100名の入選者の中からTWSでの展示希望者を募り、審査を経て選出された作家をTWS本郷にて展示するものです。本年度は21名が選ばれ、1年を通して紹介していきます。選ばれた作家たちには個展の開催にとどまらず、TWSでの様々なイベントやワークショップへ参加することを促す他、展覧会後は、TWS渋谷での展示(Team)やTWS青山：クリエイター・イン・レジデンスを拠点にした海外レジデンスとの交換プログラムへの派遣なども視野に入れ、各作家の活動をさらに広げることを目的とした支援を行っています。

Ever since its opening in 2001, Tokyo Wonder Site has undertaken a wide range of programs to support and foster young artists. One such program, TWS-Emerging, is associated with the Tokyo Wonder Wall exhibition sponsored by the Tokyo Metropolitan Government. Each year 100 people are selected from among more than a thousand who respond to the call from Tokyo Wonder Wall, and their works are displayed at the Museum of Contemporary Art Tokyo. A further process then selects 12 of those 100 for the opportunity to show their art to the wider public at the gallery in the third-floor corridor of the Tokyo Metropolitan Government Building. TWS-Emerging invites the same 100 artists to participate in another exhibition, and those chosen are put on display at Tokyo Wonder Site Hongo. For this year, 21 young artists were picked to participate, and their works are going to be displayed over a period of one year. Not only does each of the selected artists have their own individual exhibition, they are also invited to participate in a number of events and workshops at Tokyo Wonder Site venues throughout that year. And once their exhibitions have been staged, they are supported in various other ways to raise their profiles and expand their activities. They are eligible to exhibit their works in the TEAM program at Tokyo Wonder Site Shibuya, and to take up the post of creator in residence for a period at Tokyo Wonder Site Aoyama: Creator-in-Residence. They may also be sent overseas in Tokyo Wonder Site's international exchange programs.

トーキョーワンダーサイト本郷2010年度年間スケジュール

開催期間	1F	2F	3F
2010年	6月5日(土) — 6月27日(日)	TWS-Emerging 2010 135 MASAKO	TWS-Emerging 2010 136 巖 慧蘭 137 柴田七美
	7月3日(土) — 7月25日(日)	コレクターズ・コレクション展	TWS-Emerging 2010 138 大小島真木
	8月7日(土) — 8月29日(日)		TWS-Emerging 2010 141 近あつき
	9月4日(土) — 9月26日(日)	大学連携 (卒業制作選抜作品展)	
	10月2日(土) — 10月24日(日)	公開制作 #1	TWS-Emerging 2010 144 オダユウジ
	10月30日(土) — 11月21日(日)		TWS-Emerging 2010 145 高瀬絵梨 146 平井陽子
2011年	11月27日(土) — 12月19日(日)	公開制作 #2	TWS-Emerging 2010 147 鎌田友介
	1月8日(土) — 1月30日(日)		TWS-Emerging 2010 148 吉田夏奈 149 中山 開
	3月19日(土) — 4月中旬(予定)	第5回展覧会企画公募	TWS-Emerging 2010 150 平川ヒロ 151 高松明日香 152 吉田早苗 153 池田 衆 154 江口綾音 155 坂根輝美

プログラムはやむを得ず変更となる場合があります。予めご了承ください。

[TWS-Emerging 2010] 各展覧会の初日に出品作家によるアーティストトーク・交流会を予定しています。
 [TWS-Emerging 2010] Artist talk and reception will be held on the first day of the each exhibition.

TWS hongo

トーキョーワンダーサイト本郷 〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-16 Tokyo Wonder Site Hongo 2-4-16 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033
 TEL: 03-5689-5331 / FAX: 03-5689-7501 Email: contact@tokyo-ws.org URL: http://www.tokyo-ws.org

開館時間: 11:00~19:00 (最終入場は30分前まで) / 休館日: 月曜日(祝日の場合は翌火曜日) / 入場料: 無料
 Open Hours: 11:00-19:00 (Last Entry: 18:30) / Closed: Monday (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) / Admission: Free
 [交通案内] 御茶ノ水駅・水道橋駅(JR総武線)、水道橋駅(都営地下鉄三田線)、御茶ノ水駅・本郷三丁目駅(東京メトロ丸ノ内線)、本郷三丁目駅(都営地下鉄大江戸線)各駅より徒歩7分 *駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。
 7 minutes walk from Ochanomizu Station Ochanomizu-bashi Exit & Suidobashi Station East Exit (JR Sobu Line), Suidobashi Station Exit A1 (Toei Subway Mita Line), Ochanomizu Station & Hongo-Sanchome Station (Tokyo Metro Marunouchi Line), Hongo-Sanchome Station Exit 3 (Toei Subway Oedo Line).
 *There is no parking lot. Visitors are encouraged to use public transportation.

